

大湾区情報 No. 33

グレーターベイエリア情報 発行：2022年4月12日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【学位取得による広東省定住スキーム等ワンストップサービスを提供 大湾区（広東省）人材ポート正式オープン】](#)

[【広州地下鉄 22 号線、最初の区間開通 大湾区最速路線がもたらした変化】](#)

[【広東省、大規模 未控除増値税還付を正式開始】](#)

[【関連記事】 2022/23 年度香港財政予算案及び今後の見通し（青葉ホームページ）](#)

【学位取得による広東省定住スキーム等ワンストップサービスを提供 大湾区（広東省）人材ポート正式オープン】



3月31日、広東省人事資源・社会保障庁による「大湾区（広東）人材ポート」（以下「人材ポート」）が広州市でオープンしました。

人材ポートは、広州市越秀区の壬豊ビジネスビルに開設されました。大湾区人材は、人材ポートにおいて、当地での定住、子女の学校への入学、交流やトレーニング、プロジェクトのマッチングなど、ワンストップの人材関連のサービスや保障を受けることができます。将来的には、省レベルのメインポートとしての機能は、広東省内の市や県にも複製される予定です。

人材ポートは、人材公共サービスセンター、ハイレベル人材イノベーション交流センター、ハイスキル人材イノベーション交流センターなど 6 つの中核機能エリアを設置し、国家専門家サービス基地、全国博士研究員(ポストドクター)イノベーション・デモンストレーション・センター、大湾区労働紛争合同仲裁センターなどの国家レベルのプラットフォームが集結しています。

人材ポートは、世界クラスのサービスの質を持ち、中国国内をリードすることを目標とし、国内国外と向き合い、大湾区に貢献することにこだわっています。一流のサービス方式、一流のサービス設備により、人材サービスの最適化と実用化を建設運営の核とし、サービス、交流、展示、イノベーションの四つの機能をワンストップで実現し、「省レベルのメインポート+市・県レベルのサブポート」及び「フィジカルポート+クラウドポート」を一体化サービス体系を率先して構築し、新たなグローバルに影響力のある大湾区人材プラットフォームを打ち立てます。

開幕日において、人材ポートは華為（ファーウェイ）、中国南方航空、中国建設銀行、深圳先進研究院、季華実験室など 20 社と戦略的協力関係を結び、12 件のプロジェクトについて説明会を実施、その場で 4 件のイノベーション科学技術の実用化が実現しました。

人材ポートの総面積は、3 つのベースフロア（5～7 階）と 3 つのタワーフロア（12～14 階）を含む 16,000 平方メートル超となっています。5 階に公共サービスセンター、6 階にハイレベル人材向けイノベーション・交流センター、7 階にハイスキル人材向けイノベーション・交流センターなどがあります。

5階の「人材公共サービスセンター」には、公共サービスホール、ハイレベル人材サロン交流エリア、ハイレベル人材サービスゾーン、大湾区労働争議合同仲裁センター、国際人材ワンストップ・サービス・ゾーンなどがあります。セルフサービス機、ロボットガイダンス、AIボイス・サービス、マニュアルサービス窓口、専門家マンツーマンサービスなど様々な形態で、国内外の人材に対して以下のような高レベルのサービス体験を提供しています。

総合的サービス：

国際人材に対し、留学、ビジネス、科学技術、法律、知的財産権、金融、税務などの総合的なビジネスコンサルティングを提供。

政策コンサルティングサービス：

オフショア人材や帰国人材がイノベーションや起業に必要とするあらゆる支援政策をまとめ、的確な政策マッチング・コンサルティング・サービスを提供。

人材推薦サービス：

各拠点、企業、機関の人材ニーズに応じて、的確な人材マッチング推薦サービスを提供。

人材交流サービス：

国際人材の交流とマッチングのための一連のブランド活動を展開。

プロジェクトの実用化：

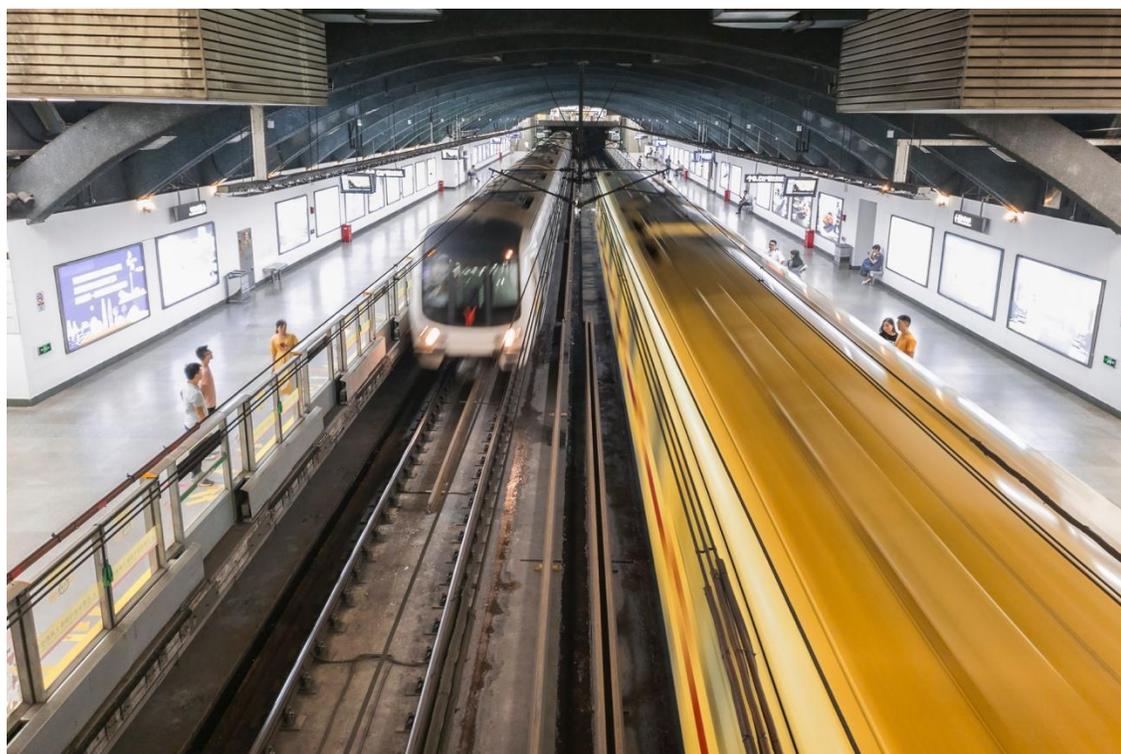
オフショア人材や帰国人材がイノベーション、起業するためのマッチング・プラットフォームを構築し、プロジェクトのインキュベーション及び実用化を促進。

6階のハイレベル人材イノベーション交流センターには、ポストドクターのイノベーションおよび起業に対するサービスエリア、ハイレベル人材の就業と起業のサービスエリア、ポストドクターイノベーション・デモンストレーション・センター、実用化センター、人材評価センター、記者クラブ、ハイレベル人材交流センター、「広東南部エリート」「国の大黒柱」「グローバルビジョン」テーマ展示エリアなどがあります。デジタルとインテリジェントなハイテク展示スペースを通じて、ハイレベル人材によるイノベーションと起業の成果をあらゆる側面から紹介します。ハイレベル人材の交流・育成、学術セミナー、プロジェクト

トマッチングなどの活動を通じて、産学・研究交流のプラットフォームを構築し、国内外の人材の交流・協力を促進します。

7階の高技能人材イノベーション交流センターには、高技能人材業務成果展示エリア、高技能人材育成アライアンス、メディア融合センター、会議室などが設置されています。高技能人材の成果を世界の舞台で紹介することにより、高技能人材の育成・活用・評価・奨励に関するイノベーション実証基地、および、高技術人材と技術教育の成果展示窓口、ハイエンド技術教育フォーラム、「クラブトマンシップ」の拠点、国内外交流・トレーニングプラットフォーム、広東省内の産業と技能人材のマッチングプラットフォームが構築されます。

【広州地下鉄 22 号線、最初の区間開通 大湾区最速路線がもたらした変化】



3月31日午前6時、大湾区最速路線である広州地下鉄18号線の姉妹線、22号線第1区間の始発列車が発車しました。全長18.2km、陳頭崗駅から広州南

駅、市広路駅、番禺広場駅を通過、広州南駅（2号線、7号線、仏山地下鉄2号線乗換）、番禺広場駅（3号線、18号線乗換）が乗換駅となっています。22号線の最初の開通区間は、当初最高時速160キロで走行し、片道所要時間は約14分、運行間隔は約7分30秒となる予定です。

22号線開通により、広州地下鉄の総走行距離は中国国内第3位の607.6kmに達し、駅数も294駅にまで増加しました。多くの人々が待ち望んでいたこの22号線の第1区間が、なぜこれほどまでに注目されているのでしょうか。また、広州の経済発展にどのような影響を与えるのでしょうか。

スマートアップグレード 広州初の完全自動運転の高速地下鉄

プラットフォームに入ると、ビビッドオレンジに彩られた22号線の電車がトンネルを高速で走行するのを目にすることができます。先に開通の18号線「ベイエリア・ブルー」と同様に、22号線も時速160キロのシティエクスプレスD型車両を採用しており、同じく8両編成ですが、当ルートの地域的位置づけや今後の展開に呼応した特徴あるデザインとなっています。

18号線と比較し、22号線はスマート化研究の上でさらにレベルアップを目指しており、最高運転速度時速160キロの列車に、初めて完全自動運転システム機能が実装されました。22号線は、運転士の操作なしでの、発車、運転、ドア開閉操作、定位置停止、ホームドアと車両ドアの自動位置合わせ及び分離、および車両車庫での自動洗車、自動線路切替などの機能を備えています。

また22号線は「最強の頭脳」も搭載されており、インダストリアル・インターネットとIoTを活用した鉄道交通オペレーティングシステム「穗騰OS」が採用されています。広帯域光伝送ネットワークにより、車両積載情報を元に車両内の混雑度を分析し、次の駅のホームドアのディスプレイに車両ごとの混雑度を表示することにより乗客を比較的混雑していない車両に誘導することができます。

20 万人が恩恵 「中国 No.1 大規模マンション」 都心への通勤時間が半減

「祝 22 号線開通！」祈福新邨（Clifford Estates：広州市番禺区）の入口にバナーがかけられています。今回の地下鉄開通がなぜこれほどまでに注目されるがについては祈福新邨の歴史から述べなければなりません。

1991 年の建設以来、祈福新邨は 31 年の歴史を刻んできました。現在では 20 万人以上の人々が居住しており「中国 No.1 大規模マンション」と呼ばれ、まるで一つの県（日本の「郡」程度）サイズの相当規模をもっているといえます。

31 年もの間、20 万人以上の住民は、自家用車、シャトルバス、公共バスを主に頼って移動してきました。住民の移動に関する問題を解決するために、祈福新邨はかつて広州で最大級のシャトルバス体系を整備し、広州の各区行きのシャトルバスが毎日 1,000 便以上行き来していました。22 号線の開通まで、祈福地区の住民は珠江新城、公園前、琶洲などのエリアに行くには、必ず公共バスに乗り、地下鉄 3 号線に乗り換えねばなりませんでした。

22 号線の第一区間の開通で祈福住民は「玄関口」で地下鉄に乗車、アクセスが目まぐるしく改善される

広州地下鉄が試算したところ、祈福新邨から珠江新城エリアまで、バスの待ち時間を除いても約 50 分かかりますが、将来的には周辺地域住民が直接 22 号線から 18 号線への乗換で、約 33 分に短縮されます。

公園前駅まで行く場合には、これまでは公共バス経由で地下鉄に乗り、乗換が 2 回必要で、全行程で約 70 分要していましたが、今後は 22 号線で直接 2 号線に乗り換えることにより約 35 分と半分の時間で済むようになります。市広路から広州南駅までの所要時間はわずか 5 分で、現行のバス移動に比べ約 35 分の短縮となります。

大湾区をつなぐ「広深地下鉄」 北は空港、南は深圳へ連結予定

22号線の開通により、広州南駅は2号線、7号線、仏山地下鉄2号線、22号線の4路線に接続し、広州で最も乗換路線が多い地下鉄駅となりました。

22号線は広州南駅快速線として位置づけられており、現在も22号線の残り区間、南浦西駅、南滘駅、西朗駅、芳村駅の各駅の工事がまだ続いています。22号線が全線開通したあかつきには、南沙、番禺、荔湾と広州南駅を結ぶ快速軌道交通機関となり、広州南と白鵝潭の2つのハブを結ぶ重要な役割を果たすこととなります。

計画によると、22号線は芳村-白雲空港シティリンクプロジェクトとの接続運営される見込みで、広州駅、広州白雲駅、広州南駅などの鉄道ハブと白雲国際空港の3つのターミナルを結び、ハブ間の相互接続を実現し、空港経済区、白雲シティセンター、白雲湖デジタルテクノシティ、白雲ハブエリアと広州主要都市圏の高速接続を実現し、広州市中心から白雲空港まで30分、南沙から白雲空港まで45分を実現させます。

なお、特筆すべきこととして、22号線はすでに「広州-深圳」間の連結が計画されています。今年2月、広州市南沙の広東・香港・マカオ包括協力イノベーションモデルゾーン建設の効果を発表する記者会見において、第14次5カ年計画期間中、南沙は大湾区東岸都市との高速・直結性を強化し、南沙と深圳市の線路間の空白を埋めるために地下鉄22号線の東延長線（深圳光明城まで）を建設することが発表されました。

各方面から発表された計画情報によると、22号線は南沙を中間接続点として、広州と深圳が「手をつなぐ」ことを実現する模様です。22号線の一方は広州の中心区を結び、もう一方は東莞を結び、深圳まで延伸する予定です。広州、東莞、深圳を結ぶ22号線により、南沙は大湾区の幾何学的中心という立地の価値を実現することができます。

【広東省、大規模 未控除増値税還付を正式開始】



大規模な未控除増値税の税額還付が正式に開始されます。4月1日から、対象となる零細企業は現有未控除税額の一括還付を申請でき、対象となる小型薄利企業や製造業などの業種の企業は増分未控除増値税還付手続きを申請できるようになりました。さらに、小規模納税者も増値税の段階的免除の政策を享受できるようになりました。

還付、減税は小型薄利企業を優先的に、製造業を中心に支援

税金還付や減税は、今年のマクロ経済を安定させるための重要な取り組みです。新しい複合型税制支援政策の実施は、企業に直接キャッシュフローを提供し、企業の技術転換と設備更新のスピードアップを促進し、市場関係者の信頼を効果的に高め、発展の内発的動力を高め、安定的かつ健全な経済発展を促進させることができます。

今年に入ってから、税務局、財政部、国家発展改革委員会などの部門は、以上の政策にかかわる、税金還付や減税に関する文書を 20 件近く発行しています。4 月 1 日、広東省税務局が開催した「発展のための税制優遇、企業と人民に未来への恩恵を」フォーラムにおいて、広東省税務局党委員会委員並びに広東省税務局副局长である肖映波氏は、これらの政策は段階的措置でも制度的取り決めでもあり、一般的な政策も特定の分野を支援する取り組みもあり、中央政府が出した統一的な政策も法律に基づき地方が実施する自治政策もあります。また、税金還付だけでなく、減税、免税、納税猶予、費用減免、費用猶予などの支援もあります。

未控除増値税税額還付は新複合型税制支援政策の最も重要な要素であり、年間を通じて市場関係者に約 1 兆 5 千億人民元の追加キャッシュフローを生み出す見込みです。還付税額は「実際のお金」として企業に還元され、直接的に当面の収入を増やすことができます。事業拡大の最中にあり、緊急に資金援助を必要としている企業に対して、一助により、難関を乗り越えさせ、活力を与えるための作用を引き起こし、生産および経営の負担を軽減する役割を果たすことができます。

「小型薄利企業への支援を優先し、対象企業は 6 月末までに現有未控除税額一括還付を受けることができ、増分未控除税額還付の還付割合は 60% から 100% に引き上げられました。一方、製造業などの産業への支援を重点に置き、増分未控除税金還付の毎月全額還付政策の範囲はすべての製造業に拡大し、科学研究及び技術サービス業、電気・熱エネルギー・ガス・水生産、供給業、ソフトウェアと情報技術サービス業、生態保護と環境管理業、交通・輸送・倉庫保管および郵便業なども含まれています。そしてこれらの産業での増分未控除の現有税額を今年末までに一括して還付する予定です。」と広東省税務局の政策法規署署長である安紹軍氏は述べました。

また、今年 4 月 1 日から 12 月 31 日まで、小規模増値税納税者は、賦課率 3% の課税売上所得に対する増値税が免除され、3% の予納率の増値税予定納税の徴

収が一時停止されます。「これまで小規模納税者は月商が 15 万人民元の基準額を超えた場合、免税を享受できなかつたのですが、今回は免税を享受でき、税務当局への申告や認可手続きも必要はありません。」安氏は続いて説明しました。

小型薄利企業税制優遇措置享受のための「3つの自動化」サービスでプロセスもより円滑に

優遇政策享受のプロセスをより円滑化するため、同政策の「申請不要で享受」の仕組みの構築、手続きの簡素化、申告資料の合理化を最大限に検討しています。例えば、小型薄利企業向けに「3つの自動化」サービス、すなわち優遇政策の条件の自動判断、優遇金額の自動計算、優遇政策情報の自動通知といった、小型薄利企業が最も便利にサービスを享受できるように配慮しています。

また、多面的な連携、協力により、政策の実施を加速させることができました。広東省税務局は、省の人事資源・社会保障部、財政庁、医療保障局などの部門と減税・費用減免の取り組みについて合同会議システムを構築し、今年実施した未控除税額還付政策について、広東省財政庁、中国人民銀行などと詳細な調査を行い、還付資金を十分に確保することができました。

商工会連合会、業界団体など、各界の大きな力も、さらなる大きな力を起こしています。フォーラムにおいて、広東省商工会連合会の一級検査官である盧小周氏は、「私たちは政府部門と民間企業の“橋渡し”“つなぎ”の役割を果たし、民間企業、特に中小零細企業に対して“送政策、優体験、助成長”の新複合型税制支援政策の推進に協力し、税務局による複合的かつ規模に応じた減税・費用減免政策を支援します。」と述べました。

【参考資料】

- ・ [学位取得による広東省定住スキーム等ワンストップサービスを提供 大湾区（広東省）人材ポート正式オープン](#)
- ・ [広州地下鉄 22 号線、最初の区間開通 大湾区最速路線がもたらした変化](#)
- ・ [広東省、大規模 未控除増値税還付を正式開始](#)